

泉の自治だより

題字 田中伸一

No. 121

発行所 泉町連合区
 発行責任者 連合区会長 田中伸一
 事務局 (泉公民館内)
 土岐市泉中寮町 TEL 55-3653
 編集部長 額 健二

小竹 和子
木彩会



連合会長、各区長、女性部長より泉町の皆様へ 平成28年度の活動を振り返って

二年間を振り返って

泉町連合区会長 田中伸一

連合区の会長職に就いて早いものでもう二年を経過し、最後の挨拶文を書くことになりました。

この二年間で十名の各区長、そして区役員、女性部役員、連合区の総務、会計、事務局、五名の市議会議員の皆様、又、消防分団、他各種協力団体の皆様により色々な行事に参加して頂いた泉町民の皆様本当に感謝申し上げます。

当初は、会議、会合の連続でこれで二年も務まるのだろうかと不安で一杯でしたが、周りのスタッフを支えられ、何とか今日までやってまいりました。おかげ様でこの間大きな災害もなく、行事等で事故も少なく終える事が出来ました。

唯一、泉町の長年の課題であり、泉公民館の建設については、何の進展もなく大変申し訳なく思っております。現在、土岐市においては市新庁舎の建設、駅前広場の拡張再開発等の大きなプロジェクトが動いていて、なかなか他の分野への予算が難しくなっておりますが、今後も新しい連合区の役員に引き続き一緒にいきたいと思います。

『自治会のあり方について』
 昨年十二月の新潟県糸魚川市の大火災の際「組」という組織を通じての避難誘導が話題になりました。
 又、熊本地震、東北の震災の時もそうでしたが、大きな災害事故の時こそ小さな地域のつながりが大変重要になっております。

それと高齢者世帯や一人暮らし高齢者が増えてきた今日、何かの時に頼りになるのは隣近所の存在です。常日頃の付き合いがあつてこそ非常時の助けになると思います。
 確かに区費等の負担もありますが、この問題は当然自治会としても検討すべきです。又、子供の虐待等も泉町内に無いわけではありません。不幸な事件を少なくする為にも、自治会も大変重要な役割を持っていると思っておりますので、これからも自治会活動に深いご理解ご支援をお願い致します。

平成二十八年度の久尻区三役・女性部三役の皆さんと力を合わせて、精一杯頑張ってきました。各町内会長のご協力と区民の皆様のご理解をいただき大変な心より御礼申し上げます。
 平成二十八年度は、四月の「熊本地震」から始まり、夏には各地で豪雨による水害、年末には「糸魚川大火災」と各地で災害が発生しました。
 おかげさまで久尻区においては、災害もなく終えることに安堵しております。

「糸魚川大火災」では、大火災にもかかわらず、死者が一人もいなかったのは、密なる近所付き合いで、避難への声掛けができたことが最大の要因ではないかと思っております。久尻区において常日頃の密なる近所付き合いで、明るく安全で住みやすい地域づくりへの活動ができたのか改めて反省しています。
 ハード面での災害対策は、ご要望を満足に達成できていませんが、粘り強く行政にお願いすることはもちろんですが、区民としてできるソフト面での防災活動を今後も考えていかなければならないと思っております。行政が行う災害図上訓練(DIG)などに積極的に参加し、自分の住まいる地域の避難場所・避難経路等、防災意識を高めることの重要性を再認識しました。
 また、地域の安全上の防犯対策として「駅前パトロール活動」も各位のボランティア活動が継続されています。駅前パトロールにより、犯罪防止の抑止に役立っていると思っております。関係各位に感謝します。
 久尻区の防犯対策としては、長年の懸案事項である「防犯力

平成二十八年度久尻区活動を振り返って

久尻区長 秦野 友吉

メラ整備検討委員会」を立ち上げ、泉西小学校・泉西付属幼稚園への通学・通園路の2ヶ所(旧文化会館付近及び泉が丘一丁目付近)に防犯力メラを設置しました。犯罪のリスク回避になるものと願っています。
 また平成十八年発足した「アアシルヴァ連絡委員会」(河合哲心委員長)を窓口として工業団地への企業誘致を市の助言を得ながら対応してきましたが、昨年度(平成二十七年)全区画完成(優良企業十社)しました。これから進出企業と地域住民が

戸惑いとともに始まった一年間でしたが、役員の皆様方に助けられ、また区民の皆様のご理解、ご協力を賜り、無事区役員総会ようとしております。区役員一同を代表して厚く御礼申し上げます。さて任期中以下に述べるところを想いながら務めさせていただきます。
 奉仕の自治会活動(運営)では、現在、その後に来る社会情勢に対応出来るであろうかと(現状の人口推移のままだと、二十五年先には六十五歳以上人口のピークが到来し、六十五年先には高齢化率のピークとなる)との予測がされています。簡単に捉えれば、今年生まれた子が六十五歳に成る頃には、高齢者ばかりとなることは間違いないでしょう。来る高齢化社会への対応計画・複数年を要する事案の解決・区財産の管理、特に有効利用など、一年交代の区役員体制では、対応に無理が生じるのではと思っております。(専従化できるほど

一年間の地域活動を顧みて

河合区長 永井 学

ど財政は豊かではない。)制度の進んだ今日の状況では、国の慢性的な歳費不足は否定的な状況、給付年不足の抑制、介護抑制となり、今迄国を支えてきた人達が、高齢者となった途端に、国のお荷物に変わる時代の到来……。高齢者の身の置き場所は何処でしょうか? 自分の好きな事に関わり楽しみ、静かに人生を閉じたいと思ふのは、誰しも同じではないでしょうか?
 ある大学の教授が、「還暦を迎えれば農事に携わる人が増える」と述べています。自給自足のできる河合の里山・田畑はまさに打って付け、楽しみであり、安堵であり、後世に残せる唯一の宝でしょう。
 故に、田畑・水路・山林の保全(適度な雑木伐採等)・道路敷の草刈りなど、行政に要望するのはなく、河合の地は出来る限り区民自らが守るべきでしょう。



不安定な現代社会を思えば、史実に学び、先人の為されたことを、真似れば良いのでは！旧米沢藩の窮地を立て直した上杉鷹山公の「為せば成る、為さねばならぬ何事も」の教えのように、区民が「なすこと」そして「気が付くこと」でしよう。区民の力で、今以上に河合の地が、住みやす

一年間を振り返って

定林寺区長 永井 隆

早いものでもうこうして一年を振り返る時期となりました。特に夏ごろまでは大変慌ただしく、目の前に追ったことを何とか実施していくのが精一杯という状況でした。

まずは報告事項を二点一つ目は（仮称）定林寺東公民館の建設についてです。観音堂に隣接する福祉会館の老朽化が激しいため、同じ場所に建て替えようというものです。建設委員会を数回開き、設計案を作成、建設費用について自治総合センターのコミュニティ助成を受けるため九月に申請書を出しました。その結果は三月末にわたること、助成金がつけば二十九年度の建設を予定しています。

く、綺麗に、里山（原風景）を取り込んだ、災害の少ない所となれば、求めなくても、自然に人が集まり、栄えるでしょう。誰にも優しい河合にしなければ。…私を育てて頂いた河合の地、諸先輩方に今こそ何かお返しする時と、そんな想いで取組ませて頂きました。有難うございました。

がLEDとなりました。市の補助金を活用し区の資金を使うことなく実施できたことは大きく、街路灯の長寿命化と電気料金的大幅な軽減につながりました。

今年度もさまざまな行事を実施してきましたが、雨にたえられた一年だったといえます。七月の九万九千日祭では朝から強い雨で準備開始時間を遅らせる事態となりましたが、夕方まで降り続いた雨も五時過ぎにはやみ、何とか無事踊りの輪を広げることができ胸をなでおろしました。また、秋の一番清掃も雨の中の実施になったほか、秋祭りも神事ではきたもの、みんなが楽しみにしていたみこし行列は中止せざるをえず大変残念でした。

秋祭りや初午祭などのときに住民の皆さんにご覧いただけることと、最後となりましたが、定林寺区民の皆様をはじめ町内会長、女性部役員、副区長をはじめ多くの関係団体・関係機関の皆様方のご理解ご協力があつて一年間多くの行事を実施することができました。この紙面をお借りしまして厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



一年間を振り返って

大富区長 佐藤 和男

昨年の春に大富区長を仰せつかりましたが、長いと思われていた一年が無事に過ぎようとしております。これもひとえに町内会長さんを始めとした各町内会の皆様方及びOBの方々・女性部・子ども会等の各種団体の方々のご理解・ご支援・ご協力のおかげです。

この一年を振り返ると四月に熊本で地震が起こり、五月と六月には大富区内で連続して住宅火災が発生し、不安な気持ちの中でのスタートとなりました。

そんな中明るい話題として、定林寺稲荷神社に小学五・六年生の四人の巫女さんが誕生し、昨年七月の津島神社合同祈願祭ではじめて巫女舞いが披露されました。今後も

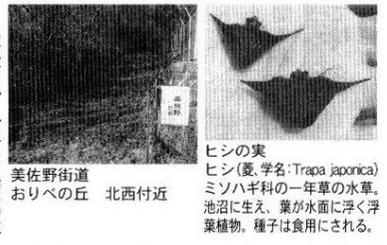
皆様方のご理解ご協力があつて一年間多くの行事を実施することができました。この紙面をお借りしまして厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

会）さんの支援を受けて大富山の中にある湿地に自生する貴重な植物の涵養と保護及び美佐野街道の整備、環境整備を行っております。

研究対象にもなっております岐阜大学における植物調査活動及び北山にあるTOTOウオッシュレットクノ（株）さんにおける地域貢献としての夏祭りの開催や地域環境整備の活動をして頂いております。大変ありがたく思っております。今後も「大富山を愛する会」と共にご支援を頂くことを願います。

今後の課題としては、前年度から引き続きました仲森公園内の仲森池に発生しております「ヒシ」の除去です。何度か刈り取りましたが、一向に衰えることがなく、むしろ勢いをつけてしまつたかの如く大量発生してしまいました。なかなか良い対策が見いだせない中で申し送り事項となつてしまいいし、誠に申し訳ないと思つていました。

最後に、少子高齢化社会に合わせるように段々薄れていく地域コミュニティですが、自治会の自治とは「自ら地域のことを考えて住みやすくしていくために自ら行動すること」と言われています。今年度も新役員さんを中心に活動されますが、大富区民の皆様のご理解ご支援ご協力により行動されることにより大富区が住みよい街となつていくこと及び区民の皆様方のご健康とご多幸を祈念いたしまして一年の報告とさせていただきます。本当にありがとうございました。



ヒシの実
ヒシ(学名:Trapa japonica)はシロハギ科の一年草の水草。池沼に生え、葉が水面に浮く浮葉植物。種子は食用にされる。

理でも目標を立てて、どないしたら完遂できるか焦点を練つていくことが大切だ。を思い出し、「やるっきゃないか」と自分に言い聞かせ、ヒヨッコ区長としての一年がはじまりました。わからないことばかりで、いろんな人に教えて頂きながら四苦八苦の毎日、時々心が折れる事もいっぱいありました。役割も、その反面この役割を引き受けたことで、普段は何ら接点の無いような方々にもお会いできたり、今まで知らなかった多くの事項、行政とのやり取り、申請の仕方など、自分にとってこの一年間はとても貴重な勉強時間でした。

一年間を振り返って

泉町連合区女性部長 成瀬 菊代

泉町五区的女性部長が新旧引き継ぎにて初めて顔を合わせ二十八年度泉町連合区女性部スタッフという一年が過ぎようとしています。

盛り上げて行かなければいけないと思つています。下半期に入り、公民館祭りのチャリティーバザー、皆様のご協力により多数の品物が集まり、また多くの方にお越し頂き今年も盛況のバザーとなりましたことを厚くお礼申し上げます。

私は大役をいただき、不安だけでした。しかし戸惑っているわけにもいかず、前を向き進んで行こうと思つた事を覚えています。

あつという間の一年でしたが、振り返りますと色々な事が思い出されます。上半期の最大の取組夏の盆踊りです。暑い中皆様と何日も練習し、本番を迎え、夏祭りが終わった時「大変だったけど楽しかったね」と笑顔で終わる事が出来、これらも地域ぐるみで伝承し、

こうして一年たった現在思うことは、結果はどうあれこれのような機会を与えていただいたことに感謝するとともに、私を支えてくれたメンバーをはじめ、いろいろとアドバイスを協力をしていただいた方々に、この紙面を通してお礼を言わせていたきたいというところです。

最後になりましたが、これからいろんな役職に就く方々に私からのエールを送ります。

「やる人は時間を作りやらない人は理屈を作ります。」

一年間ありがとうございました。

一年間の勉強時間

駅前区長 各務 清隆

昨年、理由あつて区長の役職を引き受けることになった私は五十七歳、他の地区の区長さん方と比べても駆け出しのヒヨッコでした。さらに、メンバーは現役サラリーマンで平日の行事参加は困難であることは目に見えていました。（ただ、会計の方は良きアドバイザーとして一年間私達三人

を支えてくれました。私は、前年度区長からの引継ぎを受けた膨大な仕事量に戸惑うばかりで、「どうしたもんじやろの〜」と思ひ悩んでいると、私が当時よく見ていた朝ドラの「朝がきた」のドラマのモデルとなった広岡浅子女史の言葉「初めから無理だと思つたら、結果もそのようになります。無

ちこり村施設にて生産ファームを見学し、自然の食を学び、りんご農園にてアップルパイ作りを体験し、食文化について知る事が出来、これからの食育の機会となりま



寒い冬でございましたが、ようやく花もほころぶ頃を迎え、いよいよバトンタッチの時期も近づいて参りました。
 一年間女性部長として行き届かぬ点多々ございましたが、こうして何とか任期を終えられますのも連合区役員の皆様、女性部の先輩方、そして各区の部長さん、委員さん、女性部の皆様の温かいお力添えのおかげと心から感謝申し上げます。
 皆様のご清祥を心からお祈り申し上げます、お礼の挨拶とさせていただきます。
 一年間本当にありがとうございました。

平成29年度泉町のイベントカレンダー（4月～8月）

月	イベント	主 催	会 場
4	泉小学校・泉西小学校入学式	泉小学校・泉西小学校	泉小学校・泉西小学校
	泉中学校入学式	泉中学校	泉中学校
	TOKI-陶器祭り	TOKI-陶器祭り実行委員会	セラトピア土岐周辺
	美濃陶祖慰霊祭	美濃奉賛会	榎公園
	文化団体連盟祭	展示部門	土岐市（文化振興課）
ステージ部門		文化プラザ（サンホール）	
5	土岐美濃焼まつり	（協）土岐美濃焼卸センター	土岐美濃焼卸商業団地内
	春の美濃焼伝統工芸品まつり	美濃焼伝統工芸品まつり実行委員会	美濃焼伝統産業会館
			陶芸村有志
	定林寺まつり窯元巡り	定林寺街づくり委員会	定林寺地区一帯（一部河合地区含む）
	市民総合体育大会	土岐市（スポーツ振興課）	市内各会場
泉町青少年育成町民会議	泉町青少年育成会	泉中学校体育館	
泉町町民野球大会	泉町体育協会・泉公民館	大徳原球場、他	
7	定林寺九万九千日祭り	定林寺区自治会	定林寺観音堂及び周辺
	久尻神社津島夏祭り	久尻神社	久尻神社
	河合津島神社祭典夏祭り	河合区自治会	八幡神社前
	炎の祭典 土岐市織部祭り ・土岐市民踊り大会他 ・土岐市織部祭り花火大会	土岐市織部祭り協賛会	・中央通り
			・土岐川
駅前区祇園祭り/ふれあいフェスティバル	駅前区祇園祭り実行委員会	ゆのみの里	
セラトピア納涼夏祭り	セラトピア土岐	セラトピア土岐	
8	土岐一稻荷神社夏祭り	白山神社・大富区	白山神社

※日程・会場は変更される場合があります。詳細は主催者にお問い合わせ下さい。

泉町の明治街道と 川南の下街道

土岐市観光ガイドの会 山内 博文

泉町の東西を結ぶ「明治街道」と呼ばれる道があります。

現在の泉町は、JR中央線、主要国道19号線・21号線、中央道、東海環状道の動脈が集まり、土岐市の中心的市街地を形成しています。

江戸時代は、河合、定林寺村は岩村藩、大富・久尻村は妻木領から幕府直轄領となり、笠松代官の支配下にありました。交通や流通の主役が「街道」であったこの時代、主要街道は中山道と土岐川南の下街道で、この二つの街道に挟まれた約百数十年前までのふるさとには、村々を結ぶ里道、脇道しかありませんでした。

下街道は、尾張名古屋城下の札の辻と、中山道大井宿の西、榎ヶ根道分を結ぶ脇道。善光寺道・伊勢道・熱田道などともいわれる庶民の道で、多くの人馬が行き交い、その中間に位置した高山村は、荷継場・宿場として賑わっていました。

ただし、東から高山宿へは、河合で土岐川、下肥田で肥田川を渡る必要があります。西の池田宿からも、土岐川を渡り多治見、生田川を渡り神明峠を越え、妻木川を渡って来るようになります。それぞれの川では渡し錢橋賃が必要だったため、

新時代も落ち着きはじめた明治十三年には、高山村に土岐郡役所がおかれ、地域の要請を受け、政策的に土岐川北の里道をつなぎ、街道が整備されることになりました。

明治十四年、下街道筋の山野内村（現瑞浪市）から、河合村の極善寺・鳴香寺を経て大日・大富へ、さらに久尻岩畑、郷町、西原から五斗詩へと上る「明治街道」が開通して、今渡で木曾川の水運に通じます。明治十五年に久々利で開通式典が挙行された明治街道は、新しい町づくりを予感させました。

家並は明治街道に沿って拡がり、明治二十二年の泉村誕生（河合地区合併は昭和二十九年）につながります。また、久尻と長瀬村を結ぶ土岐川沿いの川戸新道（明治二十二年）開設の呼び水となり、中央線敷設（明治三十五年）多治見中津川間開業）ではトンネル工事を容易にし、土砂や資材の運搬などに大きく貢献します。

余談ですが、川北に置かれた鉄道駅の駅名は「多治見、土岐津（現土岐市）、瑞浪」と川南の地名がつけられ、下街道との因縁を感じます。また、鉄道開業による駅前商店街には

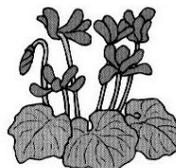
明治街道沿いの商店主たちが多く移転することになり、明治十三年、明治天皇ご巡幸が下街道筋を通ることになり、土岐川南は急激に街道整備が進みま



津島神社 二十二夜様



龍雲山 嶋香寺



おめでとう！ 三年連続全国大会出場



第48回全国ミニバスケットボール大会に、岐阜県代表として三年連続七回目の出場を射止めたチームが泉町にあります。

一月中旬、昨日降った雪がまだ残っている寒い天候の中、泉西小学校の体育館だけは熱気に満ち溢れていました。きびきびとした動きで試合形式の練習をする代表の児童たちと熱血コーチの大きな声。それを見守る保護者と監督。まるで青春スポーツドラマの一コマのよう。

総監督の水野豊滋さん(61)にお話を伺いました。本職は美濃焼伝統工芸士の陶芸家です。30余年間指導を続けられたのは、「とにかく子供が好きで、バスケを好きになって、



技術を身に付けて、この先、気持ちの強い仲間を大切にする人間に育ってほしい」という一念があったから。

いつもは、およそ50人の児童が週三回、泉小学校体育館で厳しい練習をしています。

今回は、3月28日、30日、東京都国立代々木競技場の体育館での全国大会。岐阜県代表として目標は初戦突破しベスト4に残ること。一瞬、総監督の目がキラッと輝いた。ベストを尽くせ「泉町の星たち」。

なお壮行会は、3月12日(日)午前9時から泉小学校体育館で開催されました。

(泉の自治だより編集委員 綿織)

第49回 泉町新年歩け歩け大会



平成29年元旦10時。風もなく、わりと暖かい晴天の中、土岐市駅前広場において出発式が挙行されました。打田泉公民館長、東大会会長の挨拶に続き、来賓の加藤土岐市長より挨拶をいただき、東会長を先導にスポーツ少年団の横断幕に続いて出発の号砲を聞きながら177名の参加者たちは元気に歩き出しました。

友達同志、夫婦、親子連れ(三世代連れも)、単独の人と、健脚の人もそうでない人も和気あいあい楽しく5.2kmをおおよそ1時間半かけて完歩。それぞれハツラツとして達成感を味わっていました。

ゴールの泉西公民館では河合泉西公民館長、加藤土岐市長、田中泉町連合区会長の挨拶を受け、東会長による互礼会締め言葉で閉幕。

参加者全員には完歩証抽選でお菓子の詰め合わせ等が渡されました。

(泉の自治だより編集委員 綿織)

